

講義名	観光経営学		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	田辺 文彦		
開講期・曜日・時限	前期集中 その他 その他		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	73022

主題と概要

2016年度から夏期短期集中講義として実施中。

近年、電車に乗っても、街を歩いても、外国人観光客がいることが日本の風景の一部となってきた。特に、関西地区における訪日外国人客数の伸びは大きい。一方で、アウトバウンド（日本人客の海外への送客）からインバウンド（外国人客の日本誘致）へとビジネスモデルの大きな変化が生じている中で、日本人の感覚や知識が旧来の「観光」から現代のTourism（ツーリズム）事象に追いついていないのが現状である。ここでは、世界で19世紀に誕生したTourism（ツーリズム）について、さまざまな分野で発達した大きな革新（イノベーション）を天才たちの足跡から学ぶとともに、履修者のオリジナルの旅行企画の作成を通じて、観光に関連するビジネスの意味を身近に感じ、学ぶ授業とする。特に今年度は、サービスフローの改善中心の従来の観光のアプローチではなく、アセットの価値の向上を目指す点がユニークとなっている。

到達目標

- ・国際的に標準的な“Tourism”の基礎概念を理解できること
- ・観光のフローだけでなくアセットに関するキーとなる概念・基礎理論を理解できること
- ・これらの概念を身近なツアー企画に適用して考えられること

提出課題

テーマ毎に課題提出
 講義 講義ノート（手書き）を作成し提出
 演習 演習課題を行い、提出

評価の基準

毎回の課題提出＋毎日の宿題提出（60％）、総括演習レポート（試験に当たる）（40％）
 レジューメ持ち込み可のため、保管しておくこと。

履修にあたっての注意・助言他

1. 頑張れば短期間に効率的に単位が取得可能
2. スマホで簡単に提出できる宿題がある。スマホでバーコードを使える状態にしておくこと。
3. 短期集中のため、欠席に注意。（1日4コマのため）
4. アルバイト同様、出勤簿に当たる個人の出席管理票を使用。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

資料は、授業時にレジューメを配布（英語と日本語のハイブリッド）
 参考文献としては、広く世界で用いられかつ最新の改訂がなされているものとして、ツーリズムについて、
 Charles R. Goeldner, J. R. Brent Ritchie “TOURISM Principles, Practices, Philosophies (12th Edition) ” JOHN WILEY & SONS, INC, 2011

授業計画

1. Introduction インTRODダクシヨン
 2. Destination Asset Value 観光目的地の資産価値
 3. Urbanizaiton and Roman cities 都市化とローマ都市群
 4. Father of tourism Thomas Cook ツーリズムの父 トーマスクック
 5. Lady Traveler Isabella Lucy Bird レディトラベラー イザベラルーシーバード
 6. the King of Hotelier and the King of Chefs ホテル王とシェフの王様
 7. Tourism Policy 観光政策
 8. Assets and investment, Hotel case 資産と投資、ホテルの事例
 9. Transportation and Tourism 交通とツーリズム
 10. Plan your tour by OTA and Land Operatiors OTAとランドオペレーターを使ったツアープランニング演習
 11. 続き1
 12. 続き2
 13. Naoshima, the Art island 美術の島、直島
 14. Hankyu Urban development 阪急電鉄の都市開発戦略
 15. Reporting 最終レポート作成演習
- 内容を変更する場合がある。

予習・復習

予習、および復習の課題は、スマホで手軽に提出可能。

備考

近年、夏は猛暑が続いています。体調管理に気をつけて、元気に履修しましょう。
 連絡は、田辺文彦宛にメールで tana.fumi.kb@gmail.com